

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-----|---------|------|--------|---------|----------------|---|
| シラバス年度 | 2022年度 | 開講キャンパス | | 都城キャンパス | 開設学科 | | 子ども教育学科 | | |
| 科目名称 | 保育内容指導法（環境） | | | | | 授業形態 | 講義 | | |
| 科目コード | 750068 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 2年 | 実務経験教員 | | アクティブ ラーニング | ○ |
| 担当教員名 | 山田 裕司 | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>保育内容指導法（環境）では、幼稚園教育要領や保育所保育指針等を確認し、実際の保育・幼児教育現場における活動や環境構成とその意図について学ぶことを目的としています。</p> <p>幼稚園教育要領等では、領域「環境」について記載している箇所を理解すると共に、実践事例をもとに、子どもたちが活動するにあたって構成する環境やその活用方法について学びます。その際、「環境」との関わりを通して子どもが身につける／身につけることができる資質・能力について学ぶとともに、保育者としての援助方法についても学んでいきます。また、実際の保育・幼児教育現場を訪問し、授業での学びが実際の活動現場においてどのように展開（環境構成）されているのか、そしてその環境を通して子どもたちの学びがどのように展開されているのか学んでいきます。</p> | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 保育内容総論、保育内容指導法、保育・教育課程論 | | | | | | | | |
| 授業の進め方 と方法 | <p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。</p> | | | | | | | | |
| 授業計画 【第1回】 | 1. 保育と「環境」 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に記載されている「環境」について理解を深めます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第2回】 | 2. 領域「環境」とは 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に記載されている「環境」について理解を深めます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第3回】 | 3. 子どもの育ちと領域「環境」-3歳以上児 年齢別に構成する環境が異なることを、子どもの発達や活動内容を基に学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第4回】 | 4. 子どもの育ちと領域「環境」-3歳未満児 年齢別に構成する環境が異なることを、子どもの発達や活動内容を基に学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第5回】 | 5. 子どもを取り巻く人的環境 保育者も環境を構成する一つであることを理解し、援助方法や見守りについて学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第6回】 | 6. 子どもを取り巻く物的環境-3歳以上児 園庭や教室・保育室における物的環境の構成について学びます。コーナー保育、遊具など。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第7回】 | 7. 子どもを取り巻く物的環境-3歳未満児 園庭や教室・保育室における物的環境の構成について学びます。コーナー保育、遊具など。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第8回】 | 8. 子どもを取り巻く社会的環境 園内及び園外には社会的環境（地域社会）、自然環境があることを理解し、その活用方法や活動と通して得ることができる成果について学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第9回】 | 9. 子どもを取り巻く自然環境 園内及び園外には社会的環境（地域社会）、自然環境があることを理解し、その活用方法や活動と通して得ることができる成果について学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第10回】 | 10. 子どもの生きる力を育む環境-3歳以上児 実際の園訪問を通して、子どもの生きる力を育む環境構成や、健やかな成長を支える環境構成について学びます。 | | | | | | | | |
| 授業計画 【第11回】 | 11. 子どもの生きる力を育む環境-3歳未満児 実際の園訪問を通して、子どもの生きる力を育む環境構成や、健やかな成長を支える環境構成について学びます。 | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|--|
| 授業計画 【第12回】 | 12. 子どもを守り育てる環境 実際の園訪問を通して、子どもの生きる力を育む環境構成や、健やかな成長を支える環境構成について学びます。 |
| 授業計画 【第13回】 | 13. 気になる子どもと環境 幼稚園・保育所等において現在抱えている課題について、環境という視点から学びます。 |
| 授業計画 【第14回】 | 14. 環境を通じた教育・保育の現在の課題 幼稚園・保育所等において現在抱えている課題について、環境という視点から学びます。 |
| 授業計画 【第15回】 | 15. 子どもと環境 幼稚園・保育所等において現在抱えている課題について、環境という視点から学びます。 |
| 授業の到達目標 | 1. 乳幼児期の子どもたちが身のまわりの自然や社会の仕組みを理解していく過程を理解する。【思考】 2. 環境と体験を通して子どもたちの豊かな心情や自ら考え、やり遂げる力を育てる方法を学ぶ。【意欲】 3. 領域「環境」のねらいに基づいて、保育内容と活動の展開を理解し、その援助を学ぶ。【知識・技能】 |
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) |
| 授業時間外の学修 【予習】 | 授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。 また、授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。 |
| 授業時間外の学修 【復習】 | 授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。 また、授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。 |
| 課題に対する フィードバック | 小テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。 |
| 評価方法・基準 | 以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）-50点 2) 小テスト及びレポート-20点 3) 最終試験-30点 |
| テキスト | 『保育者のための50のキーワード』（1,793円税込）荒井冽 著 |
| 参考書 | 『保育内容 環境-あなたならどうしますか?』（2,052円税込）酒井幸子他著 出版社：萌文書林 発売日：2016年05月 |
| 備考 | |